

武蔵国分僧寺復元体験アプリケーション制作業務委託に関する公募型プロポーザル 質問回答書

No.	項目	質問内容	回答
1	ストア内アプリ評価報告書について	実施要領の応募資格には、App Store やGoogle Play でアプリを配信していることは要件として記載されておりませんが、提出書類には「ストア内アプリ評価報告書」が含まれておりました。こちらに関しまして、「ストア内アプリ評価報告書」の提出は任意ということでしょうか。それともApp Store やGoogle Play でアプリを配信していることも応募資格の一つであるということでしょうか。	「ストア内アプリ評価報告書」の提出は必須となります。該当なしの場合は、その旨記載のうえ、ご提出をお願いいたします。なお、「App StoreやGoogle Playでアプリを配信していること」は参加資格には含まれません。
2	アプリケーションの利用状況の把握について	外部サービスを利用しても問題ありませんでしょうか。 iOS → App Analytics Android → Firebase&Googleアナリティクス	利用状況の把握に際して、外部サービスの利用は問題ございません。
3	3DCG制作に関する資料について	復元モデル作成のための詳細資料(図面、考古学報告書、写真など)はご用意いただけますか？ その資料の範囲・充実度はどの程度でしょうか？	建物については、『武蔵国分寺伽藍復元模型設計書』『武蔵国分寺七重塔復元模型設計書』(いずれも紙媒体のみ)があり、用意可能です。発掘調査報告書については、『国指定史跡武蔵国分僧寺跡発掘調査報告書』(2016年)があり、「全国文化財総覧」で公開されています。(https://sitereports.nabunken.go.jp/79491) 範囲・充実度について、『設計書』は、近年の発掘調査・学術研究の成果は反映されていないため、7割程度となりますが、設計図面として基礎的な情報は網羅されています。『報告書』については、遺構の基本的な規模(数値)が記されているため、9~9.5割程度となっています。
4	3DCG制作に関する資料について	時代考証の徹底(歴史的事実の深度)をどこまで求められますか？	仕様書で定める「本市発掘調査の成果や時代背景を考察した建造物の制作、細やかな寺院建築の構造美をリアルなものとする」の実現にあたり、厳格な歴史的事実までを求めるものではありません。なお、このことは、受託者が任意で行う外部有識者の監修を妨げるものではありません。
5	3DCG制作に関する資料について	僧寺の内部構造(柱列、床面、天井高など)に関する断面図や発掘データ等の詳細資料はご提供可能でしょうか？	No.3で紹介した資料に建物の内部構造や調査のデータが記載されています。
6	天平建築の意匠・装飾再現	柱、天井、壁面装飾などの細部意匠について、具体的な仕様や参考資料はありますか？	細部意匠の具体的な参考資料はありませんが、近年他自治体で制作された奈良・平安時代の建物の復元VR・ARを参考に、本市発掘調査の成果等を加味して制作いただくことになります。
7	当時の彩色技法再現	丹塗り、朱塗りなどの伝統的塗装技法の再現レベルや色彩ガイドラインはどのように設定すべきでしょうか？	具体的な再現レベルや色彩ガイドラインはございませんが、映像を表示及び接近した際に違和感なく寺院建築の構造美を感じられるイメージでの設定を求めています。(例:柱の場合、単色ベタ塗りではなく、地の木目を可能な範囲で再現するなど)
8	VR体験におけるデバイス依存	Meta Quest等特定のデバイス利用を前提としますか？ エンドユーザーが所有するデバイスに合わせた対応範囲はどこまでとしますか？	対応範囲としては、成果物として納品いただくデバイスに対応できることが前提となります。(汎用性は考慮しません)

No.	項目	質問内容	回答
9	CGでの復元対象について	復元対象には講堂内部や金堂内部、金堂に安置されていた仏像等も含まれますでしょうか。	復元対象は主に外観を想定しています。仏像等を含む内部については、仕様書には規定していないため、委託料上限額の範囲内で任意でご提案いただく部分となります。
10	『更なる魅力発信に向けた展望』について	AR・VRコンテンツをアップデートする想定なのか。もしくはAR・VRコンテンツを他のサービス等と連携させることを想定したのになりますでしょうか。	現状、納品いただいたVR・ARコンテンツをアップデートする予定はありません。また、他サービス等との連携も現状想定していません。「更なる魅力発信に向けた展望」については、既存の発掘調査報告書等の紙媒体では感じられないVR・ARならではの要素・演出等をご提案いただく部分となります。
11	『AR鑑賞』を行う場所について	周囲には住宅街や小学校もあり、跡地が近隣住民の動線としても利用されていますが、AR鑑賞や撮影を行う際は、危険のないように場所を限定する予定などはありますでしょうか。	AR鑑賞は安全面の観点から僧寺中枢地域及び七重塔エリアでの利用を想定しています。道路上や住宅地など、上記エリア外での利用は、原則としてGPS検知による使用制限を想定しています。また、GPS検知範囲上、制限が困難な場所への対策として画面への注意表示も想定しています。
12	七重塔の再現について	七重塔は塔1のみの再現で問題ありませんでしょうか。 ※塔2は地盤固めの跡しか見つかっておらず、実際に建てられたかどうか不明ですが、再現箇所のマーカーを見ますと2棟とも再現対象となっております。	七重塔の建物は、塔1のみの再現で問題ありません。塔2については建築予定だった範囲の地面の色を変えるなどの平面表示を想定しています。
13	西僧坊の再現について	西僧坊があった場所は現在墓地になってますが、ARで表示する際には墓地内にスマホを向ける想定での運用であってますでしょうか。	お見込みのとおり、墓地方向にデバイスを向ける想定での運用となります。
14	再現時の参考資料について	跡地設置の看板や資料館内の資料についてはデジタルデータでご提供いただけますでしょうか。 また、それらに記載の解説文をアレンジの上コンテンツ内に組み込んでも問題ありませんでしょうか。	看板や資料について、デジタルデータでのご提供は可能です。また、解説文については、史実の変更(ニュアンスの違いによる誤認招来を含む)が生じない限りにおいてはアレンジ可能です。
15	監修者について	国分寺市様よりご紹介は可能でしょうか。	当市からの監修者のご紹介はいたしかねます。
16	VR機器の設置個所について	VR機器の設置個所はどちらになりますでしょうか。機器のみ納入し、電源設置等は考慮しなくて問題ありませんでしょうか。	VR機器の設置及び電源設置等の作業は本業務には含まれません。(機器の納入までをお願いいたします)